



BankARTschool

BankARTスクールは日曜を除くほぼ毎日、休み無く開講しています。この7年もの間で講座226、述べ701人の講師の方々をお招きしました。受講生は4歳のおじょうちゃんから85歳のおじいちゃんまで、述べ3400人をこえます。ぶっちゃけ話、これらの講座をうけたところで即戦力にはならないし、なにか資格が得られるわけでもありません。受けるだけではなんの役にも立たないのです。むしろここから自分たちでなにを立ち上げていくのか、それが問われているのです。

BankARTスクール校長 村田 真

月 + 金 mon. + fri. 19:30–22:00 横濱 BankART 義塾 2/6、10、13、17、20、24、27 3/2、3/5、9、12、16、19、23、26、30   近い将来、ギャラリー、オルタナティブスペース、またはフリーランスのコーディネーター等を目指す人のための実践的なゼミです。美術、建築、デザイン、パフォーマンス等の基礎的な知識はもちろんのこと、掃除や整理整頓の仕方、パソコン上でのスキル、建築図面の読み方や引き方、家具の設計や制作、展覧会の組立や具体的な進行業務、本の編集やデザイン等、施設やプロジェクトの管理運営に必要な全てのスキルを学びます。適時専門家によるゲスト講師あり。 受講料は無料ですが、原則として週2回の全16回に出席できる方、近い将来BankART、あるいはその他関係施設で実際にプロとして働きたい方、のみの受講になります。 終了試験に合格した方は、BankARTのアルバイトスタッフまたは、正規スタッフとして採用させていただきます。受講生枠は12名程度。スタッフ採用枠は正規2名、アルバイト数名。 応募時に必要な書類は、履歴書と「何故このゼミを受講するか？」というテーマ500字程度の文章。	火 tue. 19:30–21:30 ダンスリテラシー 学校教育編 2/7、14、21、28、3/6、13、20、27  平成24年度から中学保健体育指導要領が改訂され、ダンスの授業が必修化されます。全国の中学生在がダンスを学び、教員がダンスを教えるなくてはならないという大きな状況の変化を前に、この制度改革に直接関わった行政マン、舞踊教育研究者、また現場で教える教員、これまでアウトリーチ活動で教育に関わってきた舞踊家を招き、それぞれの実体験から、学校のダンス授業で何が可能かを考えます。 2/7、14 高橋和子(横浜国立大学教授) 2/21 近藤良平(ダンサー/振付家/コンドルズ) 2/28 保田明子(神奈川県立大和高校教諭) 3/6 佐藤 豊(鹿屋体育大学教授) 3/13 伊東良祐(鎌倉市立玉縄中学校教諭) 3/20 小日山明(神奈川県教育委員会保健体育科指導主事) 3/27 大野慶人(舞路家/大野一雄舞路研究所)	水 wed. 19:30–21:30 福住 廉 アートの綴り方 vol.6 2/8、15、22、29、3/7、14、21、28   展覧会を見るだけでは満足できない？ だったら書いてみましょう。この講座では、アートについての文章を書く技術を身につけます。資料やレビューを読み、アーティストに話を聞き、受講生同士でおしゃべりをして、自分で文章を書く。書いたものは添削してお返しします。さらに、みんなで展覧会を見に行く課外授業もあるなど盛りだくさん。講座の終了後にはフリーペーパー「HAMArt！」の第6号を制作する予定。 ふくずみれん：1975年東京生まれ。美術評論家。著書に『今日の限界芸術』(BankART出版)、共著に『フィールド・キャラバン計画へ』(水声社)、『ピエンナーレの現在』(青弓社)、『道の手帖 鶴見俊輔』(河出書房新社)、『なぜ広島の空をピカッとさせてはいけないのか』(無人島プロダクション)等。編著に『佐々木耕成展 全肯定』(3331 Arts Chiyoda)。	木 thu. 19:30–21:30 村田 真 現代美術アーカイブ —この30年を振り返る— 2/9、16、23、3/1、8、15、22、29   時代は約30年(＝1ジェネレーション)でひとまわりするといえます。日本の社会が大きな転換点を迎えているいま、この30年の美術の動きを振り返ってみるのも無駄なことではないでしょう。ひとりの美術ジャーナリストが見てきたエポックメイキングな展覧会や美術館、アーティストなど美術界の動向について、裏話も含めて語りしたいと思います。 むらたまこと：1954年東京生まれ。ぴあ編集部を経てフリーランスの美術ジャーナリスト。東京造形大学および慶応義塾大学非常勤講師、BankARTスクール校長。小学館ウィークリーブック『西洋絵画の巨匠』(全50巻、2009-10年)のうち、「ゴッホ」「フェルメール」「ゴッガン」「ブリュッゲル」「モロー」「ドラクロワ」「ルーベンス」を構成・執筆。また、BankART出版より10年間のレビュー集『アートのみかた』(2010年)を発刊。	土 sat. 14:00–16:30 松本秋則 竹のサウンド・オブジェを創ろう 2/4、11、18、25、3/3、10、17、24   竹は楽器を創るには非常にすぐれた材料でありノコギリで数力所カットしただけで、音程の異なった楽器がすぐ創れます。カットの方法や叩く物のちょっとした工夫で、音色の異なる楽器になります。そんな竹の特性を活かしたおもしろいサウンド・オブジェを創りましょう。 まつもとあきのり：1951年生まれ。不思議美術家。1978年より創作活動を始め、現代日本美術展、日本国際美術展、ヘンリー・ムーア大賞展など数多くに出品する。1992年五島記念文化財団の助成で、1年半アジア7ヶ国で少数民族の芸能を研究。1999年、第9回アジア・アートピエンナーレ・バンガラデシュでグランプリを受賞。現在は美術館、ギャラリー、公園、民家などさまざまな場所でサウンド・インスタレーションを展開中。
---	---	---	--	--

BankARTschool 2012年2-3月期 募集案内

BankARTスクールの概要

週1回、2ヶ月間で全8回。定員は20名程度。講座時間は19:30～21:30(土曜日は14:00～16:30)です。場所は、基本的にBankART Studio NYKになります。

スクール受講生の特典

受講生には学生証を発行します。また、BankARTショップでの買い物に5%割引、BankARTパブおよびカフェの1,000円チケットに10%割引となります。

アシスタントの募集

BankARTスクールでは、講座の記録やサポートをお願いするアシスタントを募集しています。アシスタントの方は、記録担当の講座を無料で受講することができます。意欲のある方のご参加をお待ちしております。

お申し込み方法

①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤メールアドレスを、メール・FAX・電話のいずれかにてお知らせください。その際に受講料の振込先をお知らせいたします。1講座15,000円(税込)。はじめての方は入学金3,000円(税込)も一緒にお支払いいただきます。入金が確認でき次第、手続き完了となります。一旦納入された受講料は返金できませんのでご了承ください。また、講座によっては別途材料費や資料代がかかる場合があります。申し込み受付は定員になり次第、終了させていただきます。

お申し込み・お問い合わせ：BankARTスクール事務局

school@bankart1929.com TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813
BankART Studio NYK 〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9